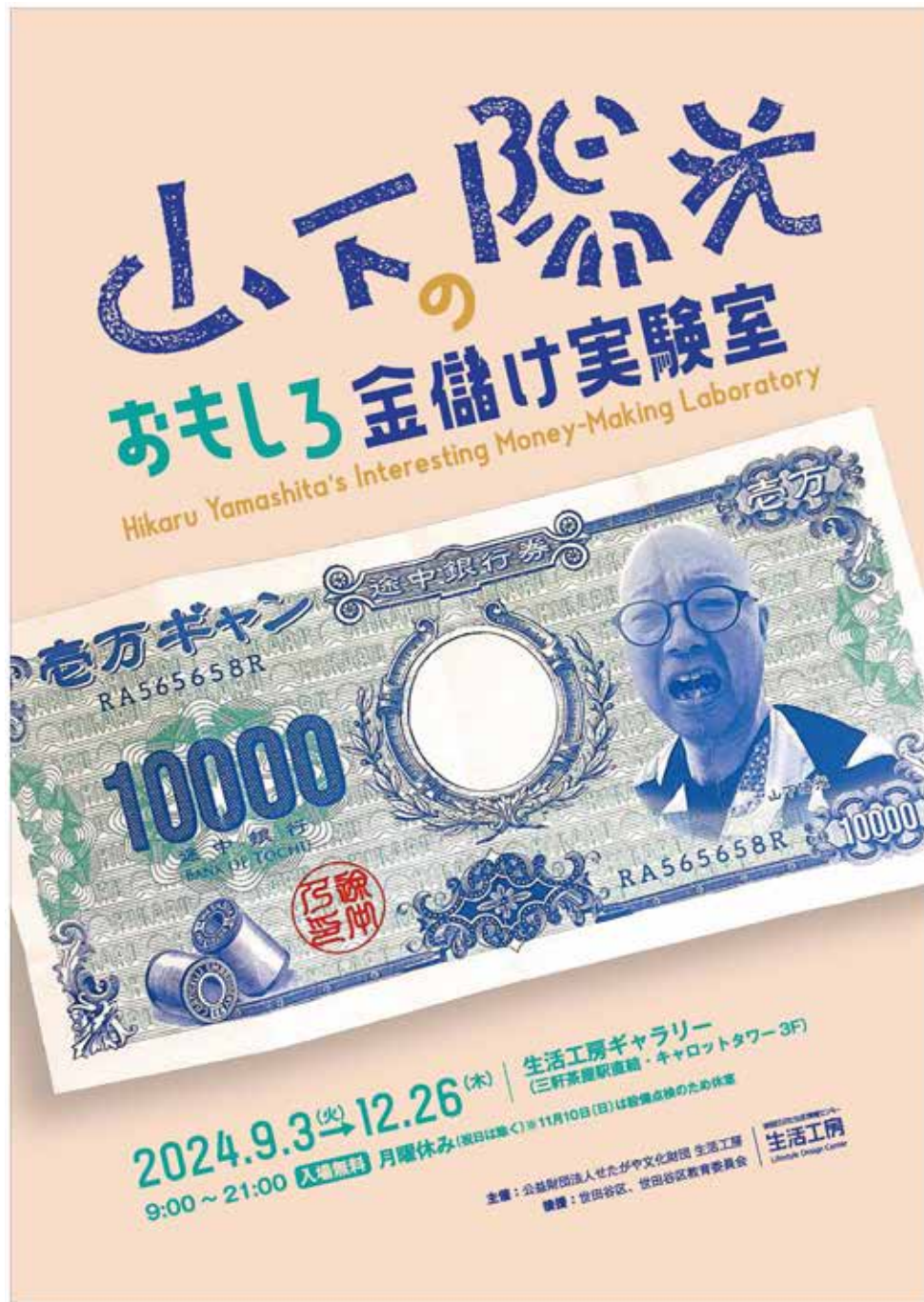


ファッション、リメイク、フリーマーケット。
仕入れから流通まで、新しい「商売」を考える展覧会。



画像①チラシ表面

2024年9月3日(火)～12月26日(木)

生活工房ギャラリー (三軒茶屋・キャロットタワー3F)

本事業に関するお問い合わせ：生活工房 石山 (広報)、佐藤、大竹
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー
TEL / 03-5432-1543 Email / info@setagaya-ldc.net

Summary

安い、速い、低クオリティという低めの志で死なずに生き抜く方法を発信しつづけている山下陽光は、**リメイクファッションブランド「途中でやめる」**を主宰する一方、インターネットラジオや写真家と編集者によるユニット「新しい骨董」など、多彩な活動でも知られています。

2004年、「途中でやめる」はフリーマーケットの売れ残りをリメイクすることからはじまりました。同年には、何も買わずに何も売らないお店「場所っプ」、ガムテープでつくられた駅構内の案内表示の発見*など、さまざまな活動がスタート。**商売によって生まれるコミュニケーションや商品に値段がつくこと、モノを見つけるおもしろさへの関心**がすでに伺えます。

2012年11月にリリースされたネットショップ作成サービス「BASE」で、「途中でやめる」の販売をいち早く開始。**生産者が消費者に直接販売する「直販」**システムをオンライン上ではじめ、現在では新作を出品するたびに30分で完売するほどの人気を博しています。

捉えどころのない山下の活動ですが、**既存のシステムや価値観を疑い、また活用する**点にひとつの軸を見出すことができます。商売という営みから貨幣を取り除いた「0円ショップ」（2010年～）、資本主義的な考え方とは一線を画す、自活するための指南書『バイトやめる学校』（山下陽光著／タバブックス／2017年）の出版などはその最たるものです。

本展では、**設立20周年**を迎えた「途中でやめる」の新作をはじめ、個人出版、口コミ、フリーマーケットでの仕入れ、野生のワサビにヒントを得た絵画など、**著書『バイトやめる学校』から深化した「おもしろ金儲け」**を現在進行形で提案します。また会場には山下の仕事場が入居するとともに、即売会をはじめとした突発イベントも開催しています。

熱狂的なファンを集めている彼の思いつきと実験と実践を全公開しながら、**生活の糧を得るためのノウハウを楽しむ展覧会**。本展では、商品や素材の仕入れから流通、商売のを見つけ方から実践まで、**既存のシステムから新たな価値を生み出す「おもしろ金儲け」の公開実験**を行います。暮らしを取り巻く「どうすりゃいいぜ」な現状を、どうにか突破する方法を探求します。

Profile

山下陽光（やました・ひかる）

1977年、長崎生まれ。高円寺の古着屋「素人の乱シランプリ」元店主。「途中でやめる」という名前で服をリメイクして販売する一方で、ガムテープ文字「修悦体」の発見（2004年）や、『バイトやめる学校』（2017年）の出版、「第8回横浜トリエンナーレ」（2024年）への参加など、さまざまな実践を行う。

（要約）

安い、速い、低クオリティという低めの志で死なずに生き抜く方法を発信しつづけるリメイクファッションブランド「途中でやめる」の山下陽光。熱狂的なファンを集めている彼の思いつきと実験と実践を全公開しながら、生活の糧を得るためのノウハウを楽しむ展覧会です。

* 警備員の佐藤修悦氏がガムテープでデザインしたJR駅構内の案内文字。「修悦体」として山下が紹介することで広く知られるようになる。



画像② 静物画をもとにリメイクしたトップス



画像③
山下がフリーマーケットで購入した
静物画

CV (経歴)

- 1977年 長崎県に生まれる。高校生の頃からパンクを聴き始める。
- 1996年 18歳で上京、高円寺に住み始める。文化服装学院を卒業後、劇団員や借金取り、Tシャツのプリント工場勤務などを経験。岡啓輔、小川てつオ、水口孝一らが運営していた「岡画郎」(高円寺)に通う。
- 2001年 友人らと「トリオフォー」結成。日刊の手書き新聞『ノッピン新聞』の発行やパフォーマンス、映像作品の発表、ガリ版印刷などを行う。
- 2004年 期間限定で「トリオフォー・ショップ」を開店。千円札を950円で売るなど「訳わかんないことをやったもん勝ち」というルールで運営する。その後「場所っp」をオープン。高円寺のマクドナルド前で何も買わずに何も売らないお店として活動、同名の山下の個人ブログも開設。
同年に「途中でやめる」を開始。フリーマーケットで売れない古着をリメイクして販売をおこなう。新宿駅にてガムテープ文字(のちの「修悦体」)を発見、動向を追いかけ始める。
- 2005年 高円寺でリサイクルショップ「素人の乱」を松本哉(活動家・古物商)とともにオープン。コンセプトに共感した人は勝手にフランチャイズになれる仕組みをとる。
- 2006年 高円寺で古着屋「素人の乱シランプリ」を開店。
- 2007年 警備員の佐藤修悦氏がガムテープでデザインしたJR駅構内の案内文字を「修悦体」として紹介。「素人の乱シランプリ」での展示や文芸誌への寄稿、イベントなどに多数出演する。
- 2008年 「山下陽光の大チョロリズムパノラマワールド展」(福住廉による連続企画「今日の限界芸術展」、ギャラリー MAKI、東京)開催。
- 2009年 「一人快芸術」(広島市現代美術館)に出品。
- 2010年 古着屋「素人の乱シランプリ」で「0円ショップ」をはじめ。すべての商品を0円で販売し話題となる。
- 2011年 東日本大震災を機に、古着屋「素人の乱シランプリ」を閉店。
- 2012年 11月に開設したECサイト「BASE」で「途中でやめる」を開設。インターネットやセレクトショップを中心に、「途中でやめる」の販売が軌道に乗る。
- 2013年 長崎県に移住。「超訳びじゅつの学校」(十和田市現代美術館)に出品。
- 2014年 「山下陽光のアトム書房調査とミョウガの空き箱がiPhone ケースになる展覧会」(鞆の津ミュージアム)を開催。同年11月、「田中忠三郎が伝える精神～東北の民俗衣コレクションと現代美術～」(十和田市現代美術館)に出品。
- 2016年 アーティストの下道基行、編集者の影山裕樹と「新しい骨董」を結成、「さいたまトリエンナーレ 2016」で「新しい骨董市」を実施。「モノに自分なりの価値を見出す楽しみ」「モノに対する自らの価値観や考え方を見つめ直す経験」を同時に提供することを試みる。
- 2017年 福岡県に移住。『バイトやめる学校』(タバブックス)を出版。「素人の乱シランプリ」や「途中でやめる」で培った、自活して暮らしていくための方法論をまとめる。
- 2020年 「0円ショップ in 福岡」(art space tetra)を開催。下道基行とインターネットラジオ「山下道ラジオ」の配信を開始。コロナ禍で野生のワサビや即席のアウトドアに目覚める。政府の布製マスク配布を受けて、オリジナルのマスクが「途中でやめる」の購入特典に。
- 2021年 拠点を東京に移す。
- 2022年 「思いついたことをやる実験室」(手と花|TETOKA)を開催。
- 2024年 「第8回横浜トリエンナーレ」に出品。絵画をリメイクした「ワサビ画」などを発表。

Topics

◎設立 20 年！「途中でやめる」の新作をご覧ください

2004年にスタートしたリメイクファッションブランド「途中でやめる」は、洋服の「直売」など設立から現在に至るまで「売り方」を探求し続け、ハンドメイドでありながら破格の値段で販売しています。本展では、会場内に「途中でやめる」の仕事場の一部が入居し、出来たての新作を会期中に随時紹介！また山下が在廊する日は販売も行っています。

◎鮮度抜群！ 山下陽光が仕入れたオススメの品をどんどん展示します

「途中でやめる」の仕入れのために、山下陽光が足繁く通っているのは大井競馬場で開催されるフリーマーケット。ここで山下が仕入れた一風変わったものが、会期中にどんどん追加されていきます。何が吹き込まれているのか分からないカセットテープ、手づくりのおもちゃ、昔の雑誌など、何気なく見過ごしてしまう雑多なモノたち。こうした仕入れに潜む「おもしろ金儲け」のヒントを探してみましょう。

◎会場に通いまくる山下陽光！ 突発イベントを多数開催予定

著書『バイトやめる学校』（タバックス／2017年）出版後、全国各地で「バイトやめる学校」を数多く開校した山下陽光。本展でも、「おもしろ金儲け」に関連するさまざまなイベントを予定しており、山下の在廊中は金儲けに関する相談も受け付けています。最新情報は生活工房 Web サイトまたは山下陽光の X (@ccttaa) でご確認ください。



画像④
山下がフリーマーケットで購入したミニカー（木製）



画像⑤
山下がフリーマーケットで購入したハングル文字が透ける器（紙製）



画像⑥ 「途中でやめる」 まる T



画像⑦ フリーマーケットで購入した品々がならぶ会場風景（撮影：馬込将充）



画像⑧ ギャラリートーク中の山下陽光（撮影：馬込将充）

Events

トークイベント

調べ物の調べ方 カラー写真とワサビの場合

原爆投下直後の広島で原爆ドーム前に現れた古書店「アトム書房」の調査など、「調べ物」に多くの時間を費やしてきた山下陽光。そんな彼がいま一番気になる「調べ物」をしている研究者を招いて、「調べ方」をたずねるトークイベントを開催します。

ゲストは、占領下の日本でアメリカ人が撮影したカラー写真の収集・分析を行う衣川太一さんと、ワサビにまつわる文献調査からフィールドワーク、DNA分析まで手掛ける山根京子さん。聞き手をつとめる山下陽光が、それぞれの「調べ物の調べ方」を深堀りします。

日時：12月7日（土）13:00～17:00

会場：生活工房ワークショップルーム AB

ゲスト：衣川太一（フィルム資料研究者）、山根京子（ワサビ研究者）

聞き手：山下陽光

定員：先着70名（申込先着順）

参加費：1,000円（入退場自由）

申込：9月25日10時より生活工房Webサイトにて

13:00～14:30 トーク1「カラー写真の場合」衣川太一×山下陽光

15:00～16:30 トーク2「ワサビの場合」山根京子×山下陽光

※会場では「途中でやめる」等の販売も予定しています



画像⑩

山下がフリーマーケットで購入した絵画にワサビをコラージュした作品



画像⑪

ワサビ画の展示風景（撮影：馬込将充）



画像⑨

山下陽光著『バイトやめる学校』（タバックス／2017年）

衣川太一（きぬがわ たいち）

神戸映画資料館研究員、フィルム資料研究者。1970年生まれ。日本大学芸術学部映画学科卒業。占領期に日本で撮影されたカラー写真の収集・調査を行っており、現在約1万4千枚を所有。著書に『占領期カラー写真を読む オキュパイド・ジャパンの色』（佐藤洋一との共著／岩波書店／2023年）など。

山根京子（やまね きょうこ）

岐阜大学応用生物科学部准教授。農学博士。1972年生まれ。京都大学大学院農学研究科博士課程修了。大阪府立大学生命環境科学研究科助教を経て、2010年より現職。専門分野は栽培植物起源学。著書『わさびの日本史』（文一総合出版／2020年）で辻静雄文化賞を受賞。全国わさび品評会審査員。

ワサビ画とは？

「第8回横浜トリエンナーレ」（2024年）に冒流系リメイクわさび画家・山わさび陽光として出品。フリーマーケットで購入した作者不明の風景画（500円）に、野生のワサビの絵をコラージュした作品。会期中に一律3,000円で販売した。

〈ヒカちゃんギャラリー〉もオープンしています！

会場内の「屋根裏部屋型の空きスペース」を利用して生まれたギャラリー内ギャラリー。山下陽光が友人・知人に声をかけて展示や販売を行っています。第一回目は萩田洋文氏による一人出版プロジェクトを紹介。「おもしろ金儲け」の輪を広げています。



画像⑫ 手前がヒカちゃんギャラリー（撮影：馬込将充）

Outline

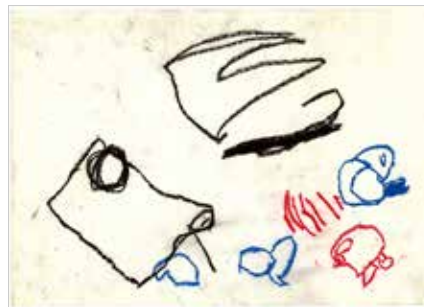
- タイトル 山下陽光のおもしろ金儲け実験室
- 会 期 2024年9月3日(火)～12月26日(木) 9:00～21:00
月曜休み(祝日は除く) ※11月10日(日)は設備点検のため休室
- 会 場 生活工房ギャラリー(三軒茶屋・キャロットタワー3階)
154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1
TEL 03-5432-1543 www.setagaya-ldc.net
- 料 金 入場無料
- 交通案内 東急田園都市線・世田谷線「三軒茶屋」駅直結
東急・小田急バス「三軒茶屋」停留所そば
- 主 催 公益財団法人せたがや文化財団 生活工房
- 後 援 世田谷区、世田谷区教育委員会



画像⑬ 直売イベントの様子



画像⑭
抽象画をもとにリメイクしたカットソー



画像⑮
山下がフリーマーケットで購入した
抽象画(児童画)



画像⑯ 会場風景(撮影:馬込将充)

「山下陽光のおもしろ金儲け実験室」 広報用画像の貸し出しについて

広報用の画像をご用意しています。ご希望の際は貸出条件をご確認いただき、下記①～⑨の必要事項を明記のうえ、Eメールにてお申し込みください。

なお、本企画の紹介記事をご掲載いただく際は、恐れ入りますが情報確認のため、掲載前に校正原稿をお送りください。

また、掲載後、掲載誌、URL等を広報担当宛てにお送りいただきますようお願い申し上げます。

【貸出条件】

- ◆画像は本企画紹介の目的のみにご使用ください。
- ◆画像データは、ご使用后必ず消去してください。
- ◆画像データを第三者に渡すことを禁じます。

【必要事項】

- ① 媒体名（雑誌名／番組名／WEBサイト名ほか）
- ② 媒体種別（新聞／雑誌／フリーペーパー／テレビ／ラジオ／WEBサイトほか）
- ③ 発売・放送・更新予定日
- ④ 御社名
- ⑤ ご担当者名
- ⑥ 御社住所
- ⑦ Eメールアドレス
- ⑧ 電話番号
- ⑨ ご希望の画像番号

画像①（P1 掲載）	チラシ表面
画像②～③（P2 掲載）	山下がフリーマーケットで購入した静物画、リメイクしたトッパス
画像④～⑤（P4 掲載）	山下がフリーマーケットで購入したもの
画像⑥（P4 掲載）	「途中でやめる」まるT
画像⑦～⑧（P4 掲載）	会場風景、ギャラリートークでの山下陽光（撮影：馬込将充）
画像⑨（P5 掲載）	山下陽光『バイトやめる学校』（タバックス／2017年）
画像⑩（P5 掲載）	山下がフリーマーケットで購入した絵画にワサビをコラージュした作品
画像⑪（P5 掲載）	ワサビ画の展示風景（撮影：馬込将充）
画像⑫（P5 掲載）	ヒカちゃんギャラリー（撮影：馬込将充）
画像⑬（P6 掲載）	過去の直売イベントの様子
画像⑭～⑮（P6 掲載）	山下がフリーマーケットで購入した抽象画、リメイクしたカットソー
画像⑯（P6 掲載）	会場風景（撮影：馬込将充）

生活工房 広報担当 石山 行き
Email info@setagaya-ldc.net